

2023年4月8日

RI2660地区  
地区研修・協議会



# 財団補助金の管理について

2023-24年度 地区財団委員会  
資金管理小委員会 相馬 康人 (八尾RC)



## 資金管理の意義

財団補助金は、みなさまからいただいた  
寄付から拠出された**浄財**です。



## 資金管理の意義

従って、補助金を**効率よく**運用し、  
**受益者**が受ける**恩恵を最大化**する  
ことが望まれます。



## 資金管理の意義

効率化・恩恵最大化のためにすべきこと

- 中間団体経由によるロス防止
- 特定の受益者に偏らないこと
- 惰性化・既得化の防止
- 透明性を高めチェック可能に など



## 資金管理のアプローチ

- 中間団体経由によるロス防止

### 原則① ロータリー会員による直接調達

- 調達コスト・物品選定の最適化が望める
- 「協力団体にとって支援活動が容易になるもの」よりも、  
「受益者自身が助かるものを」



## 資金管理のアプローチ

- 特定の受益者に偏らないこと
- 惰性化・既得化の防止

### 原則② 継続的支援の禁止

#### ○ 持続的効果と受益者の自立

「魚を与えるのではなく、魚を釣る技術を与える」



## 資金管理のアプローチ

- 透明性を高めチェック可能に

### 原則③ ルール順守・報告書提出

- ルールは、過去に発生したトラブルを回避するための積み重ね
- 報告書作成は事業の振り返り・整理でもある



## 地区補助金における 透明性向上のためのルール（入出金）

- 必ず「補助金専用口座」から直接支払
- 事業開始は補助金着金後  
（他の支出との混同を防ぐため）
- 補助金着金前に残高を0円にする  
（同上）





## 地区補助金における 透明性向上のためのルール（報告書）

- 受益者の特定
- 費用明細の添付
- 通帳・領収書と報告書に対応する番号を付与
- 補助金着金から6ヵ月経過した場合  
中間報告書を提出（通帳コピーも！）



## 地区補助金における 効率化・恩恵最大化のためのルール①

- 見積・領収書の宛先はクラブ名義、  
発行者は業者名義でなければならない  
（協力団体・受益者名義は不可）
- 協力団体・受益者への現金渡し禁止  
（ロータリー会員が物品調達）



## 地区補助金における 効率化・恩恵最大化のためのルール②

- 協力団体の運営費支援の禁止  
（既存のイベント支援も含む）
- 過大な講師費用の禁止
- 協力団体・発注先がロータリー会員の場合  
そこを選択した根拠を申請時に明記



## 地区補助金における その他注意点

- 受益者の個人データ（氏名・年齢・生年月日など個人が特定されうる情報）  
または受益者の写真は添付しない  
（国際ロータリーの広報ルール）



## 地区補助金における お願い

- 新型コロナウイルスの今後の予想が困難な中、  
想定外の事態に備え、  
事業着手・報告書提出を極力、前倒し  
で行ってくださるようお願いいたします。



本来は一点一点、協力団体の信用力など事業内容を細かく見て妥当性を判断するのが望ましいですが、審査・報告承認を限られた時間で行わねばならない中、客観的な判断基準としてルールに頼らざるを得ません。

これを皆さんにも理解・順守していただけるよう、取りまとめたのが「財団補助金申請ハンドブック」。



## 参考資料について

### 【授与と受諾の条件】

2022年9月版が最新版

### 【財団補助金申請ハンドブック】

2022年9月版が最新版

※ 授与と受諾の条件は、

- 地区補助金用
  - グローバル補助金用
- の2種類が発行されています。



ご静聴ありがとうございました